

(表3) 金融再生法開示債権の推移

(単位:億円)

		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度中間期
都銀・長信銀・信託	金融再生法開示債権	219,450 ( 219,450 )	203,580 ( 184,930 )	200,080 ( 180,320 )	283,850 ( 267,820 )	206,800 ( 202,440 )	177,420 ( 174,580 )
	破産更生等債権	53,660 ( 53,660 )	40,800 ( 37,910 )	36,970 ( 31,800 )	35,290 ( 32,010 )	22,100 ( 21,610 )	22,210 ( 21,980 )
	危険債権	123,180 ( 123,180 )	108,400 ( 100,660 )	91,700 ( 84,850 )	129,790 ( 122,330 )	67,740 ( 65,820 )	63,290 ( 61,590 )
	要管理債権	42,610 ( 42,610 )	54,380 ( 46,370 )	71,410 ( 63,670 )	118,770 ( 113,480 )	116,960 ( 115,010 )	91,910 ( 91,020 )
地域銀行	金融再生法開示債権	119,980	114,470	136,220	148,220	146,600	138,930
	破産更生等債権	49,550	37,060	39,640	38,750	35,370	33,710
	危険債権	50,970	54,080	58,640	63,360	62,390	59,980
	要管理債権	19,460	23,330	37,940	46,110	48,840	45,240
全国銀行	金融再生法開示債権	339,430	318,050	336,300	432,070	353,390	316,350
	破産更生等債権	103,210	77,860	76,610	74,040	57,470	55,920
	危険債権	174,150	162,480	150,340	193,150	130,130	123,280
	要管理債権	62,070	77,710	109,350	164,880	165,790	137,150

- (注) 1. 計数は、億円を四捨五入し、10億円単位にまとめた。  
2. 10年度は新生銀行、あおぞら銀行を除き、11年度はあおぞら銀行を除く計数。12年度以降は新生銀行、あおぞら銀行共に含む。  
14年度以降には、UFJ銀行の再生専門子会社の計数を含み、15年度中間期には、みずほグループ各行の再生専門子会社の計数を含む。  
3. ( )は新生銀行、あおぞら銀行を除く主要11行の計数。  
4. 地域銀行には、埼玉りそな銀行を含む。